

山の安全と地域の繁栄を祈願 第50回船通山宣揚祭

比婆道後帝釈国定公園に指定されている船通山山頂において、7月28日、宣揚祭及び船通山記念碑祭が行われました。

今年で50回目を迎えた宣揚祭は、夏山の安全と地域の繁栄を祈願する目的で、奥出雲町と鳥取県日南町でつくる船通山を守る会などが主催し、地元住民や関係者などおよそ150人の登山客が集まりました。

両町の神職により厳かな神事が執り行われた後、スサノオノミコトに扮した仰支期里神社(八代)の石原道夫宮司によって悪をなぎ払う勇壮な剣舞が披露され、祭りが一層盛り上げました。また、第50回記念行事として日南町の児童らが作詞をした歌やふるさとを合唱したほか、日南町出身のデザイン書道家の佐伯勉さんによる書道パフォーマンスが披露されました。

閉式後には、餅まきが行われ、厳かな中にも賑やかな祭りとなりました。



▲スサノオの剣舞



▲書道パフォーマンス

「ねがいはしては～」 第50回雲州そろばん珠算競技大会



▲競技中の様子

8月1日、奥出雲町商工会と雲州算盤協同組合の主催するそろばん珠算競技大会が町民体育館で開催されました。

今大会で50回目の開催を迎え、植田良二商工会長から全国珠算教育連盟鳥根県支部に感謝状が手渡されたほか、読み上げ算各部門優勝者に鳥根県知事賞、読み上げ暗算各部門優勝者に鳥根県教育長賞、フラッシュ暗算各部門優勝者に奥出雲町長賞が授与されることになりました。

町内をはじめ中四国や関西地方から20団体、235人が出場し、その中で幼稚園年長児の2人が大会の最年少参加者となりました。

会場では開始の合図と同時にパチパチとそろばんをはじく音が響き、参加者たちは真剣な眼差しで取り組み日頃の成果を競い合いました。

奥出雲町観光協会・観光案内所が移転 出雲三成駅にオープン



▲観光案内所内の様子(パンフレットや特産品などが並ぶ)

昨年4月1日に奥出雲町サイクリングターミナル内に開設した奥出雲町観光協会・観光案内所が、出雲三成駅のポプラ店舗跡地に移転しました。

8月5日には、記念式典を開催し、およそ50人の関係者や来場者が集まりました。

はじめに、勝田町長が「この施設を本町の観光情報発信の拠点とするとともに、隣接する仁多特産市、サイクリングターミナルと連携を図り、三成駅を中心としたエリアから奥出雲町全体を活性化させていきたい」と挨拶し、開所のテープカットを行いました。

その後、仁多乃炎太鼓による祝い打ち、餅まき、観光案内所の見学が行われ、来場者は新しい観光案内所の開設を楽しみながら祝いました。

観光協会では引き続き、本町の食、自然、神話、歴史、文化などの魅力を発信するとともに、商工会、観光事業者との連携を図り、観光客の誘致に努めます。

奥出雲町国際親善大使に任命 国際交流の架け橋



▲町国際親善大使に就任した長谷部俊昭さん(左から2番目)とジュガ・ヤーノッシュさん(中央)

本町の魅力を世界に発信するとともに、広く国際交流事業を展開していくため、「奥出雲町国際親善大使」の任命制度を創設しました。

初となる町国際親善大使に、これまで雲州そばを通じた交流を重ねてきたハンガリーの国营電力会社副社長のジュガ・ヤーノッシュさんと、ハンガリー・ナショナル・トレーディングハウス公認代表の長谷部俊昭さんの2人に就任いただきました。

7月13日に行われた任命式では、勝田町長が「ハンガリーと奥出雲町との絆を深め、文化や教育、産業などの様々な分野での交流を広げたい」と挨拶し、任命書を手渡しました。

長谷部さんは「日本の奥出雲だけでなく、世界の奥出雲として世界の人々に知ってもらえるよう最大限努力していきたい」と話し、ヤーノッシュさんは「最初に任命された国際親善大使として、協力しながら関係を築き上げ、最善を尽くしたい」と意気込みを語られました。

今後2人は、海外で和食の人氣が高まっていることから町内食品会社の進出を支援するほか、文化を通じた交流人口の拡大に寄与されることが期待されます。



▲ハンガリーは中欧に位置し、首都はブダペスト。人口約980万人で、1000年以上の歴史、文化を誇る

奥出雲町初の誘致企業 (株)セラク奥出雲農業IT研究所が開所



▲事業説明の様子

今年2月に鳥根県、奥出雲町と企業立地の覚書を締結した(株)セラクが、農業IT開発拠点となる「奥出雲農業IT研究所」を三沢地区に開所されました。

7月21日に行われた開所式には、鳥根県商工労働部の安川真史次長をはじめ、地元関係者などおよそ30人が集い、研究所の開所を祝いました。

(株)セラクの宮崎龍己代表取締役が「みどりクラウドの研究開発、実証実験に地元農家や住民のご支援、ご協力をお願いしたい」と挨拶された後、安川次長、勝田町長、三沢地区の大坂茂福祉振興協議会会長とともに開所のテープカットを行いました。

今後、研究所では地域農家との共同実験等を行い、野菜の生育環境を計測し、データ化するサービス「みどりクラウド」の機能拡張に取り組まれます。



▲研究所の庭にある研究施設(右下はみどりクラウドの機器)

全国高等学校総合体育大会ホッケー競技 横田高校女子ホッケー部第3位

7月29日から8月1日にかけて、山形県で開催された平成29年度全国高等学校総合体育大会ホッケー競技で、横田高校女子ホッケー部が第3位の成績をおさめました。

8月4日には、役場横田庁舎と仁多庁舎で報告会が行われ、保護者や町民が集い選手の健闘を称えました。

恩田賢二監督は「今大会の結果に満足せず、国体予選、国体、選抜大会では更に上の結果を残せるよう日々努力する」と述べ、小笹夏実主将は「苦しい場面の中にもいいプレーがあった。2週間後の国体予選に向けて、チーム全員で練習を続けたい」と次の大会への意気込みを語りました。

